



支那單語... 次の語が天津ですと云ふを...

愈よ明十五日から 製糸の減釜を行ふ

現釜数より一割五分の制限 濱通りで減る百廿余釜

生糸輸出の値抑へと製糸品 四ヶ工場約八百五十釜に對...

長源寺境内にある 鳥居元忠夫人の墓

雑草に埋もれてゐるを發見

平市胡摩澤の長源寺は曹洞宗 大源派に屬し慶長十六年平城...

元平樂跡に事務所 三福炭礦の化の皮

平署の取調にて一萬圓の詐欺 昨年末にも二千圓の騙り

戸澤は元インテキ 造船會社の重役

別項三福炭礦の詐欺共謀者 以前インテキ造船會社重役を...

文で今春平市に流れ炭礦經營 者と稱し送炭の約束で東京市...

戰地の便り 益々意を固くして 興亞の使命に邁進

平市彌宜町出身 諷訪太郎 益々意を固くして 興亞の使命に邁進...

慰問品で元氣百倍

平市二丁目出身 谷口孝雄 本日結構なる慰問品の數々...

開拓の戦士を訪ふ 廿七女性の奉仕隊

一行の飯野村の遠藤みよ子 さんご好問村の公子さん...

臨時總會 鮫川堰の 日曹運搬夫即死

石城郡鮫川堰水利組合では來 二十日午前九時から同水利...

採炭夫感電即死

石城郡野間村の古河炭礦採炭 夫吉田昌三(三六)は昨十三日...

泥酔の住家侵入

石城郡赤井村の南赤井船生長 次郎方へ去る十二日午前二時...

入山第六坑ガス 爆發で二名死傷

湯本町入山炭礦第六坑に於て 昨十三日午前四時頃少量のガ...

また饑饉の鬼となつた英靈 を祀る忠靈塔の前にひざま...

御誂ひ製製品 高島屋洋服店 電話三三六六

酒は禁物

石炭素を撒いた日は
【酒は禁物】
中毒症について新潟
農試戸島技師の研究
作業前または作業後一、二
日経つて酒を飲んでも中毒を
起さないと云ふことである、
これについてヘツセ氏が實驗
によつて次のやうに實驗して
ゐる、

即ちシアンミッドはアルコ
ールの作用を促進するのみ
でなく、その他の毒物の作
用を促進する、またアルコ
ールはシアンミッドの作用
を増強するが、しかしシ
アンミッドはアルコールの作
用を増強しない、
または作業後酒を飲んで烈し
い中毒症にかゝるのは攝取順
がシアンミッド、アルコール
であるからアルコールの増強
作用に基づくもので、作業前
及び作業後一、二日経つて飲
んでも差支へない理由は、作
業前に飲んだ場合は非常に吸
收の早いものであるから直ち
に胃壁から吸収されてしまひ
、
然る後シアンミッドが来
ても共に作用すべきアルコ
ールは存在せぬゆゑ各々單獨の
力だけしか作用しない、また
作業後一、二日経つて飲酒す
るときはシアンミッドはそれ
までに完全に吸収されてゐる
からアルコールもまた單獨の
作用に止まるのである、
なほ一言注意して置きたい
ことは作業前の飲酒は差支へ
ないとは云へこれは時間と量
との問題であつて作業直前に
酒を飲むが如きはシアンミ
ッドとアルコールの作用すべき
機会をつくり易く、危険であ
るから作業前はつとめて節酒
する方が安全である(完り)

暑中御伺

石城郡山田村
あまのこころ

平病院
院長 鈴木定藏
電話 六四二番

平市銀行組合

和洋銅鐵 金屋商店
電話九・九九番

堀江工業株式會社
社長 堀江新太郎
平市橋小川 電話五一番

平電氣株式會社

木炭移 野米彌商店
出問屋 磐越東線小川郷驛

平鐵工機械工業組合
事務所 平市驛前 電話七六四

「貯蓄は無盡で」
三行圓
無盡城
無盡の山
無盡の山
無盡の山
無盡の山

スペイン GHN 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋藥舖 (電三)

助腹氣管支氣管炎・肺病・ロイマス
新藥 生公萃
山野邊藥局
九十五號
二四七號

カバと洋品類
眞砂屋 (平市前驛) (新道通) (電話五六)

根本婦産人科醫院
平市南町
根本庄次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

お醤油はヤシロ
たひら正宗
醬油、味醂、
調味料品
明治生命製糖代理店 山崎與三郎

中山崎合名會社
電話 本営業部二七〇番
本店二七〇番
診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、齒槽架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向) (電話五〇九番)
院長 日本齒科醫學士 中野真次
日本醫學士 藤谷佐郎
主任 佐藤重義

御婚禮着付
和洋結髪
パラメント・ウエーブ
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

專門 皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間 午前八時より
午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一